

令和8年度 外国人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 41

千葉県立市川昂高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 日本語（必要に応じて英語） 検査時間：1名10分程度
(3) 作文	日本語の場合は600字～800字、英語の場合は300語～400語 受検者が、日本語又は英語を出願時に選択する。 検査時間：50分
(4) 外国人特別措置 適用申請書	実施要項(様式7の(1)又は(2))により、入国年月日及びその前後の教育 歴等を説明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書

評価項目	評価基準
記載内容	総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔36点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）
・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。
aを3点、bを2点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各12点満点）を合計し、得点化
する。3名の評価者のうち、いずれかの評価者の得点化した評価が5点以下である場合は、
審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機	志望の動機が明確である。
イ 意 欲	高校生活に前向きに取り組もうとする姿勢がある。
ウ 受け答え	質問を的確に理解し、簡潔・明快に答えられる。
エ 態 度	受検者にふさわしい身なり・態度・言葉遣いである。

(3) 作文〔20点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、A（優れている）・B（標準的である）・C（やや問題がある）・D（問題がある）の4段階で評価する。
Aを5点、Bを3点、Cを2点、Dを1点とし、2名の評価者の評価（各10点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 作文の技術	文章表現が適切である。文字・単語の表記が適正である。 字数・語数が適正である。
イ 作文の内容	与えられた課題や条件に合致している。 主題が明確に表現できている。

(4) 外国人特別措置適用申請書

評価項目	評価基準
記載内容	応募資格があることを確認する。

3 選抜方法

中学校の校長から送付された調査書、外国人特別措置適用申請書等の書類の審査並びに面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。